※令和４年度以降入学生用

学校番号	315

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・製作物は最後までやり遂げ完成させてください。
・授業のプリントは、ファイルに挟み、授業の板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいたことクラスメイトの発言した内容などを欄外に記入していきましょう。
・「課題を理解する→実生活で行かせることはないか構想する→実践してみる→実践した内容を振り返り改善点を考える」といった一連の過程で自分の考えを発表したり議論したりする家庭科的な活動を行います。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。
(3)様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章生涯を見通す	1.　人生を展望する 2.　目標をもって生きる	a.自立した生活を営むために，生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解することができる。 b.生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し，歩みたい人生の目標を描くことができる。	定期考査 ワークシート	ワークシート	
	第2章人生をつくる	1.　人生をつくる 2.　家族･家庭を見つめる 3.　これからの家庭生活と社会	a.さまざまな生き方について理解し、よりよい家庭生活を実現するために，家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解することができる。また、社会制度としての家族や家族と法律を理解することができる。 ｂ.学習したさまざまな生き方や家族についての法律と関連付けて生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができる。 ｃ.誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるにはどのような社会を実現すればよいか，考えて実践しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	第7章衣生活をつくる	1.　被服の役割を考える 2.　被服を入手する	a私たちが被服を着用するに至った，社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解し、用途に合った着装を実践できる力や被服表示を参考にして目的に応じた着装について考える力を身につけるために被服の役割や被服材料の性能や加工について理解することができる。 ｂ.学習した内容と関連付けて日々の生活の着装について考察することができる。 ｃ.実生活において被服の着装について調べることができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		3.　被服を管理する	a. 手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう，実践できる力を身につけるために，被服の洗濯や保管方法を科学的に理解することができる。 b. 学習した内容を実生活で生かせるよう被服の洗濯や保管方法を科学的に考察することができる。 ｃ. 実生活において学習した内容をふまえて被服の洗濯や保管に活用しようとしている。	定期考査 ワークシート 実験レポート	定期考査 ワークシート 実験レポート	ワークシート 振り返りシート
		4.　衣生活の文化と知恵 5、これからの衣生活	a. 現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために被服製作を通して、その技術と知識を身に着ける。 b. 実習したことより現代での衣生活の問題点や課題を考察することができる。 ｃ. 実習したことを自分の衣生活に活用することができる。	課題作品 実習レポート	課題作品 実習レポート	実習レポート 実習態度 振り返りシート
	ホームプロジェクト		ｂ. ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解し、考察することができる。 c. 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し，解決方法を考え，計画を立てて実践しようとすることができる。		ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	第3章子どもと共に育つ	1命を育む 2子どもの育つ力を知る 3子どもと関わる 4子どもとの触れ合いから学ぶ	a: 命に対する責任や，社会の一員として次世代を育む責任を持つために，性と生殖に関する健康について理解し、子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために，子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解することができる。 b. 子どもの生まれつき持っている能力や心身の発達について理解を深め、子どもとかかわることにおいて大事になることを考察することができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
		5これからの保育環境	a. 子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために，子どもの生活習慣や衣食住について理解し、社会全体で子育てを支援していくために，現代の子育て環境の変化や課題について理解することができる。 b. 子どもにとって良い環境で育つためには何が必要か問題を考察することができる。 ｃ. 子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか，考えて実践しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	第4章超高齢社会を共に生きる	1超高齢･大衆長寿社会の到来 2高齢者の心身の特徴 3これからの超高齢社会	a:超高齢社会の背景を理解し、加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解することができる。 b. 高齢者が生きがいを持って生活するためには，家族や地域によるどのような支援が必要か高齢期を支える社会の仕組みや課題について考えることができる。 c. 高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考え活用しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第5章共に生き，共に支える	1私たちの生活と福祉 2社会保障の考え方 3共に生きる	a.　誰もが生涯を通して自分の力を生かし，必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて，家族・家庭生活を支える福祉について理解するし、国・地方公共団体の制度などの支援体制，支え合いの構造について理解することができる。 b.　学習した内容を関連付けて身近な生活ではどのようなものがあるか考察することができる。 c.私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて，個人や地域はどのような役割を果たし，つながっていけばよいか，考えて実践しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	第6章食生活をつくる	1.　食生活の課題について考える 2.　食事と栄養・食品	a:食生活の課題や食事の意義，食生活を取り巻く環境の変化などを理解し、自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるための栄養素や食品についての機能や特性を理解することができる。 c.　自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために，栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について，科学的な理解を深め考察することができる。 a.安全で衛生的な食生活を営む	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		3.　食生活の選択と安全 4.　生涯の健康を見通した食事計画 5.　調理の基礎	a. 安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方, 保存や加工の方法，食中毒や食物アレルギー, 安全を確保するための仕組みに関する知識を身につけることができる。 b. 安全性や衛生面について理解を深め、考察することができる。 C. 学習した内容と関連付けて「健康によい, 栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを実践しようとしている。 a. 食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために, 調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉えることができる。 b. 食生活の自立に必要な調理の知識と技術を考察することができる。 c.　配膳やマナーに関心を持ちながら 食生活の自立に必要な調理の知識と技術を実践しようとしている。	定期考査 ワークシート 実習レポート	定期考査 ワークシート 実習レポート	実習レポート 実習態度振り返りシート
		6.　食生活の文化と知恵 7.　これからの食生活	a. 郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために，日本の食文化の特徴を確認し、世界の食文化に関心を持ち, 私たちの食生活への影響について理解している。 b. 日本と世界の食文化について考察することができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	

※令和４年度以降入学生用

3学期	第8章住生活をつくる	1. 住生活の変遷と住居の機能 2. 安全で快適な住生活の計画	a: 住居の機能やライフステージごとの住要求や、防災，日照，換気などに関する環境性能について理解を深め，快適かつ健康，安全な生活を行う場となる住居の条件を理解することができる。 b:学習した内容に関連付けて 自らの住生活に生かすことができるよう考察することができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
		3. 住生活の文化と知恵 4. これからの住生活	a. 気候や風土の違い，時代の変化によって，大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解し、環境に配慮した住生活について理解することができる。 b. 身近な生活に置いて持続可能な住環境について考察することができる。 ｃ. 持続可能な住環境づくりを実践しようとしている。	定期考査 ワークシー	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	第9章経済生活を営む	1. 情報収集・比較と意思決定 2. 購入・支払いのルールと方法	a: 現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解し、さまざまな契約についても，契約の重要性について理解することができる。 b. 消費生活の意思決定と契約について考察しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
		3. 消費者の権利と責任 4. 生涯の経済生活を見通す	a. 消費者には権利と責任があることを理解し、消費者問題を予防し適切に対応できるよう，消費者保護制度について理解することができる。 b. 消費者の権利と責任の変遷を踏まえて，どうすれば消費者市民社会が実現できるか考察することができる。 c. どうすれば消費者市民社会が実現できるか考え実践しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		5.　これからの経済生活	見通した働き方について理解し、家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについても理解することができる。 b.家計をどのように計画するか考察することができる。 c.家計を考えた消費行動をしながらどうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	第10章持続可能な生活を営む	1．持続可能な社会を目指して	見通した働き方について理解し、家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについても理解することができる。 b.家計をどのように計画するか考察することができる。 c.家計を考えた消費行動をしながらどうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとしている。		定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	第11章これからの生活を創造する	1 生活をデザインする	b.人生の目標を達成し，自分らしい生活が実現できるよう，各ライフステージの課題や生活資源，リスク管理について振り返りながら生活設計が考察できるようになる。 c.これから持続可能な社会を構築していくために，何ができるか考えて実践しようとしている。		ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度